

体力等の現状について（5年）

～「平成25年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果の概要～

大阪市教育委員会は、平成25年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」等における学校別の調査結果の取り扱いについて、校長が、平均値等を含む調査結果及び調査結果から明らかになった現状等を公表するものとしました。ただし、調査参加学年が単学級の学校の校長は、調査結果及び調査結果から明らかになった現状等を公表しないことができるものとしています。

また、文部科学省の実施要領には、「本調査の結果については、児童が身に付けるべき力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意することが必要である」とされています。

そこで、本校では、平均値を含む調査結果は公表いたしません。（「学校協議会」において、平均値を含む調査結果、内容分析、今後の方策等について説明しています。）

現在までの取り組み、体力・運動能力等の結果の概要、今後の方策

○ 平成25年度の取り組み

- ・ 全校耐寒かけ足週間の実施やがんばりカードの活用により、自主的に体力向上を目指して、かけ足に取り組む姿が多くみられるようになりました。
- ・ 体育学習時には、めあてをもって学習に取り組み、学習カードを工夫することで児童の意欲を高めてきました。

○ 体力・運動能力等の結果の概要

- ・ 男子については、走・跳に係る項目が全国平均を下回りましたが、他の項目は上回っています。女子は全項目とも全国平均を上回りました。
- ・ 男女とも、体力合計点については全国平均を上回りました。

○ 今後の方策

- ・ 児童集会や体育集会での活動をさらに工夫し、進んで運動に親しめるようにしていきます。
- ・ 児童が運動に楽しく主体的に取り組めるよう、平素の体育学習において指導方法を工夫していきます。